

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024(令和6)年 7月 29日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県甲賀市甲賀町鳥居野121-15

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
大原薬品工業株式会社
代表取締役社長 大原 誠司

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定(変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	大原薬品工業株式会社 代表取締役社長 大原 誠司
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県甲賀市甲賀町鳥居野121-15

1 事業所の概要

事業所の名称	大原薬品工業株式会社 鳥居野工場					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市甲賀町鳥居野121-15					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	6	5	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 医薬品製剤製造業
事業の概要	オーファンドラッグ、ジェネリック医薬品の製剤及び包装					
従業員の数	105	人	操業時間	21 (5時~翌2時)	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備	6	台
	コンプレッサ	5	台	空気調和設備	12	台
				照明設備	1661	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和3 (2021)	年度	報告対象年度	令和5 (2023)	年度
	終了年度	令和7 (2025)	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

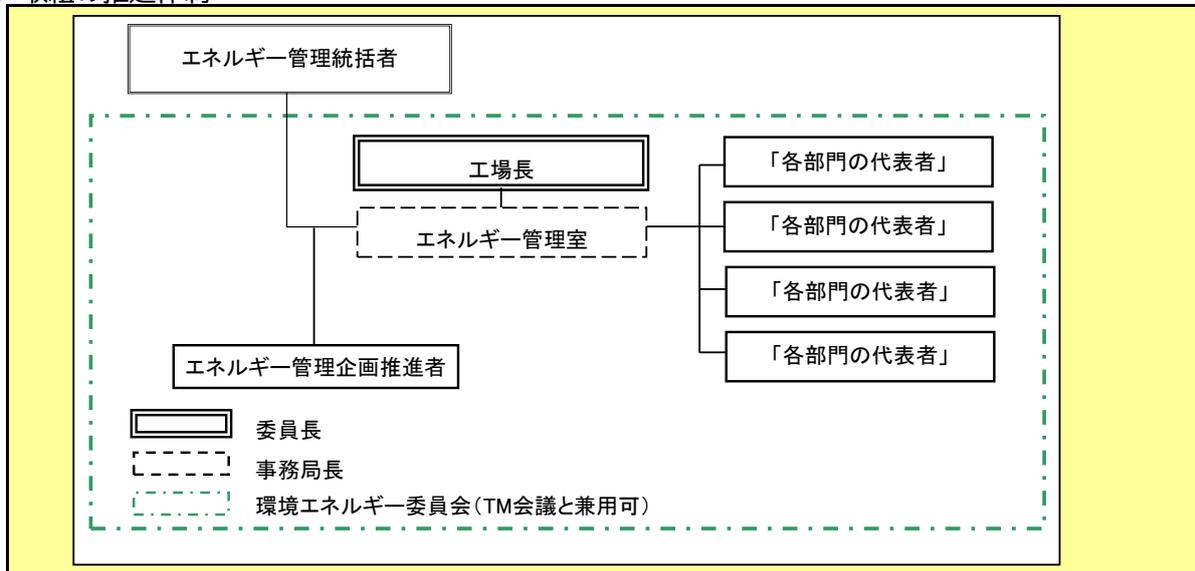
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

基本方針

- 1) エネルギー使用機器の使用状況を把握し、かつこれらに関するエネルギーの浪費を未然に防止する。また、エネルギーを消費する設備の運転および保守、点検などに関して、管理標準を設定しこれに準拠した管理を行う。
- 2) エネルギー管理体制の充実を図るとともに、設備利用の省エネルギーに関する意識の啓発に努める。
- 3) 適切な執務環境の維持に努め、業務の性質および規模に対して適切に運用する。
- 4) 継続的な改善および職場環境の維持改善に関して配慮する。
- 5) 関連する法規制の方針に則していること。

(エネルギー管理標準(基本規定) 第4版 6基本方針より抜粋)

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

エネルギー使用量削減を目的に下記事項について取組みを実施した。

- (1) 冷凍機設定温度変更に伴う電力量削減する。
- (2) 専門業者による空調機の自動制御機器に関する定期点検を通じて運用面での省エネ対策を実施。
- (3) 中央監視盤の設置によるエネルギーの見える化を図る。
- (4) 非生産時の空調機送風量を設定変更することで電力量を削減する。
- (5) 空調機の設定温度を見直すことで電力使用量及び燃料使用量の削減を図る。
- (6) 圧縮機の適正吐出圧力を見直すことで圧縮機の負荷を低減し、電力使用量の削減を図る。
- (7) ボイラーの運転切替時間を変更することでパージロスの削減及び放熱ロスの削減を図る。

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	給水シンク及び手洗いの温水を夏季限定で停止する	令和3年度～令和7年度	継続実施中
2	運用改善	空調機設備のフィルターを交換・清掃することで効率維持に努める	令和3年度～令和7年度	継続実施中
3	運用改善	生産状況に応じて、空調機設備の適切な運転となるように努める	令和3年度～令和7年度	継続実施中
4	設備導入	経年劣化による機器更新またはオーバーホールを計画的に実施する	令和4年度～令和6年度	令和6年度実施済
5	設備導入	照明設備の更新(水銀灯 → LED)	令和4年度	令和3年度実施済

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記(1)の取組み等により、5年度間でCO₂排出量原単位を年平均1.0%削減することを目標とする。</p> <p>前回までの計画期間(以降、フェーズⅠ)では、エネルギー起源によるCO₂排出量を大幅に削減することができたため、今回の計画期間(以降、フェーズⅡ)でも、継続した取組を実施することで、上記目標値の達成を目指す。</p> <p>CO₂排出量原単位 = 「鳥居野工場 CO₂排出量実績(t-CO₂/年)」 / 「生産数量(億錠)」</p> <p>なお、フェーズⅠからの推移をみるために、CO₂排出係数は2014年度の数値を固定値として試算する。 (2014年度CO₂排出係数(調整前):0.000531t-CO₂/kWh)</p> <p>ただし、毎年度提出する事業者行動報告書に記載の「4.報告対象年度における温室効果ガスの排出量」については、該当年度のCO₂排出係数を採用し、報告することとする。</p>	<p>【2023年度実績報告】</p> <p>フェーズⅡの計画期間である2021年度～2025年度に対する3年目の報告となる今回、前年度比では、</p> <ul style="list-style-type: none">・エネルギー使用量:95.1%・CO₂排出量:94.9%(係数固定)・生産数量:95.7% <p>であった。</p> <p>したがって、</p> <ul style="list-style-type: none">・CO₂排出量原単位:99.2%となり、目標であるCO₂排出量原単位1.0%削減に対して単年ベースで評価するならば0.2%及ばず未達成であった。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		2021(R3)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	1,920	1,898	1,938	1,652		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,161	3,218	2,955	3,148		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,161	3,218	2,955	3,148		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0		
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		404.060	376.030	482.930	478.944		

備考 「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	工場建屋増設又は設備機器更新時に再エネ設備への導入を検討する。
2	再エネ由来電力及び燃料に関する情報収集を行い、効果を検証する。
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		()年度				
再エネ電気設備での発電量	kWh	—	—	—	—	—
上記のうち自家消費量	kWh	—	—	—	—	—

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			2021(R3) 年度	2022(R4) 年度	2023(R5) 年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	3,128	2,966	3,024			
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	3,128	2,966	3,024			
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.334	0.318	0.311	0.434		
特記事項	令和4年度から令和5年度にかけて契約している電力会社の排出係数が上昇した。						

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			2021(R3) 年度	2022(R4) 年度	2023(R5) 年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂	-	-	-	-		
クレジットの購入	t-CO ₂	-	-	-	-		
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

取組項目	実施計画			実績報告
	取組の内容		実施スケ ジュール	
1 従業員の交 通対策	近隣駅までのシャトルバスを運行している。		R3~	予定通り実施
2 従業員の交 通対策	可能な限りWeb会議にて開催している。		R3~	予定通り実施
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
			2021(R3) 年度	2022(R4) 年度	2023(R5) 年度	()年度	()年度
保有車輛の数	台	4	4	1	1		
上記のうち 次世代自動車等の数	台	0	0	0	0		
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

取組項目	実施計画			実績報告
	取組内容		実施 スケジュール	
1 3R	廃棄物の分別、再利用化を促進し、最終処分率の低減を図る		R3~	継続実施中
2 環境マネジ メントシス テム(EMS)	新入社員研修の一貫として環境問題やエネルギーに対して理解を深めてもらうために研修会を実施する(最低1回/年)		R3~	継続実施中 (関係部署を対象に変更)
3 環境マネジ メントシス テム(EMS)	月別の電力量及び燃料等を見える化し、1回/2ヶ月 報告する		R3~	継続実施中
4 SDGs	重要書類を除き、可能な限り裏紙を使用してコピー用紙の使用量削減を図る。		R3~	2023年11月~中止 (発行管理や情報セキュリ ティの観点より)
5 グリーン購入	事務用品からグリーン購入を進め、順次拡大する方向で準備している。		R3~	継続実施中